

ディエゴ・ロドリゲス・デ・シルバ・イ・ベラスケス

——絵画を技芸から芸術へと昇華させた宮廷画家——



宮廷画家ベラスケス(1)



宮廷画家ベラスケス(2)



宮廷画家ベラスケス(3)

※宮廷画家＝宮廷装飾家(王権を装うこと)



【ベラスケスの生涯】

- ・ 1599年 セビーリャに生まれる。6月6日、サン・ペドロ聖堂で受洗。
 - 父 フアン・ロドリゲス・デ・シルバ
 - 母 ヘロニマ・ベラスケス
- ・ 1610年 ベラスケス、この頃画家フランシスコ・パチェーコの弟子となり、その工房で修行を開始。
- ・ 1611年 ベラスケスの父とパチェーコの間に6年の徒弟契約が結ばれる。同年、パチェーコ、トレードにエル・グレコを訪ねる。
- ・ 1617年 ベラスケス、画家の資格試験に合格、セビーリャの画家組合に登録、職業画家としての道を歩み始める。
- ・ 1618年 ベラスケス、師パチェーコの娘フアナと結婚。
 - 「玉子を料理する老女と少年」
 - 「マルタとマリアの家のキリスト」
- ・ 1619年 ベラスケス、「東方の三博士」を描く。
- ・ 1620年頃 「セビーリャの水売り」。
- ・ 1622年 ベラスケス、最初のマドリード旅行。

【ベラスケスの生涯-2】

- ・ 1623年 ベラスケス、二度目のマドリード旅行。[オリバーレス](#)に引き立てられて、マドリードで国王フェリーペ4世の肖像画を描く。《王付き画家Pintor del Rey》に任命され、マドリードに居を構える。
- ・ 1624年 [「フェリーペ4世」](#)を描く。
- ・ 1627年 ベラスケス、「モリスコの追放」をテーマにした宮廷画家によるコンクールで一位となり、国王の《私室取次係Ujier de Cámara》に任命される。
- ・ 1628年 ベラスケス、マドリードに訪問中の[ルーベンス](#)と親交、ともにエル・エスコリアルを訪問。
 - [「バッカスの勝利」](#)(～1629)
- ・ 1629年 ベラスケス、8月10日、最初の[イタリア旅行](#)へ。10月から1年間、ローマに滞在。

【ベラスケスの生涯-3】

- ・ 1630年 ベラスケス、イタリア滞在中に「ヨセフの長衣を受ける聖ヤコブ」、「ウルカヌスの鍛冶場」を製作。
- ・ 1631年 ベラスケス、イタリアより帰国。
 - － 「十字架上のキリスト」
- ・ 1633年 《宮廷警吏》に任命される。
- ・ 1634年 「バルタサール・カルロス皇太子騎馬像」、「フェリーペ4世騎馬像」
- ・ 1635年 「ブレードの開城」完成。「狩猟服姿のバルタサール・カルロス皇太子」をはじめ、一連の狩猟服の肖像の制作開始。
 - ※ ブエン・レティーロ宮を飾る絵画 ※ 劇場都市マドリッド
- ・ 1636年 《王室衣装係》に任命される。
- ・ 1638年 この頃「オリバーレス公伯爵騎馬像」制作。
- ・ 1639年 《宮廷重要文書書記》に任命される。
- ・ 1643年 《王室侍従代》および《王室特別工事監督官》に任命される。アルカサル造営に関与。この年、オリバーレス公伯爵が失脚。

【ベラスケスの生涯-4】

- 1646年 ベラスケス、正式に王室侍従代に就任。
- 1647年 [王宮](#)《八角の間》工事検査官兼会計官に任命される。
- 1648年 秋、ベラスケス、第二次イタリア旅行へ出発
- 1649年 ベラスケス、1月ジェノヴァ到着。ヴェネツィアなどを經由し、ローマに約2年間滞在。この間に、国王のための芸術買い付け人として、約300点におよぶ美術品を購入。
- 1650年 ベラスケス、ローマの聖ルカ・アカデミーの会員となる。[「フアン・デ・パレーハ」](#)がローマのパンテオンで公開される。[「教皇インノケンティウス10世」](#)制作。
- 1651年 ベラスケス、6月以前にローマより帰国。王女マルガリータの誕生。
- 1652年 ベラスケス、《王室配室長》に任命される。この頃、王宮付属宝物館に住居を与えられる。[「マリアナ王妃」](#)制作(～53年)。
- 1656年 ベラスケス、[「女官たち\(ラス・メニーナス\)」](#)を制作。

【ベラスケスの生涯-5】

- 1657年 ベラスケス、この頃「アラクネの寓話(織女たち)」を制作。
- 1659年 サンティアゴ騎士修道会に入会(「女官たち」のなかの自画像にサンティアゴ十字章がのちに描かれている)。フェリーペ・プロスペロ王子を製作。
- 1660年 ベラスケス、この頃、絶筆「マルガリータ王女」を制作。マルガリータ王女とフランス王ルイ14世の婚儀準備のため、仏西国境のフェザン島(ファイサネス島)に赴き、式典儀式を演出。
6月26日、マドリード到着。
7月末、病に倒れ、8月6日マドリードで没する。サン・フアン・バウティスタ聖堂に埋葬される。同14日、妻フアナ没。

※19世紀後半、ベラスケスの評価が高まる。マネは、彼を「**画家の中の画家**」と絶賛する。

寵臣オリバーレス(1587~1645)

- 1621年、休戦協定が切れたオランダとの戦争を再開
- 1622年8月、大改革評議会を設置
- 腐敗の糾弾、綱紀粛正、奢侈禁止、全般的健全化
- 1624年、国王への進言書

「国王陛下。あなた様の王国のもっとも重要な案件は、あなた様がスペイン国王となられることです。すなわち、陛下、あなた様がポルトガル、アラゴン、バレンシアの国王、バルセローナ伯爵であることに満足されず、スペインを構成するこれらの王国をカスティーリヤの形式と法に則って治められるように、……熟慮した秘密の進言を受けつつお考えになりお働きになることです。」

⇒《複合王政》の否定

- 1626年、軍隊統合計画
- 1635年、フランスとの戦争が本格化
- 1640年、カタルーニャの反乱、ポルトガルの独立戦争の開始。
- 1643年1月、オリバーレスの失脚。
- 1645年7月、死去。

※「大帝国の忌まわしい寵臣もすべてを消耗したあげく、ついに事切れたようだ。彼の死は万人を満足させるものであった。」（年代記作家マティアス・デ・ノボア）



ブエン・レティーロ宮の建設(1)



ブエン・レティーロ宮の建設(2)



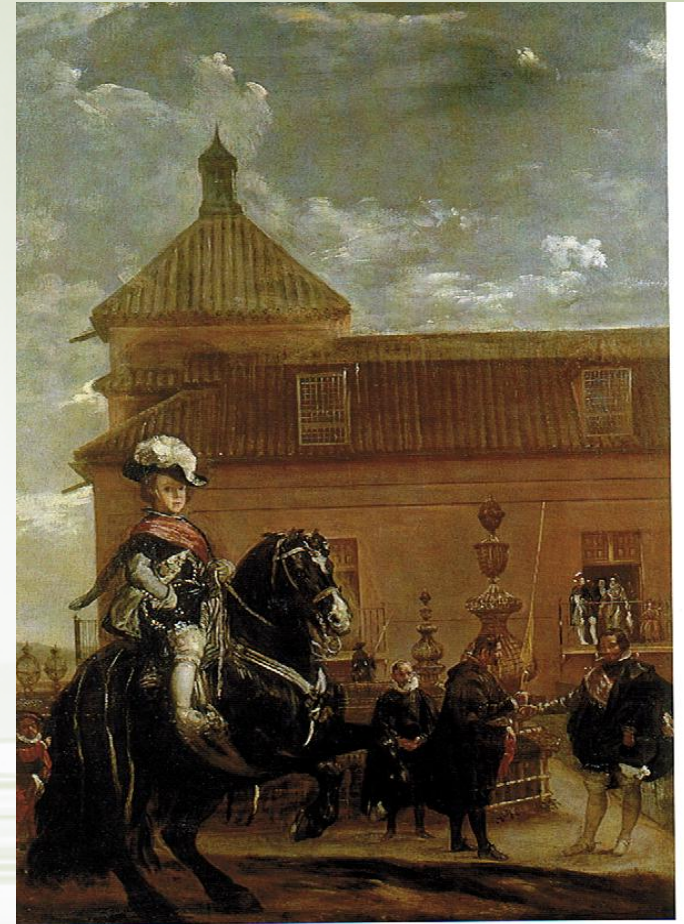
諸王国の間 ⇒「政治的プロパガンダの記念物」

- 前国王夫妻・現国王夫妻・王太子の騎馬像(王家の過去・現在・未来)——ベラスケスの作品
- ヘラクレスの生涯を題材にした10枚の絵——スルバランの作品
- 戦争を主題にした12枚の絵——「ブレダの開城」(ベラスケス)、「バイーアの回復」(マイノ)など
- 天井の24の紋章——スペイン王国を構成する諸王国

ブエン・レティーロ宮の建設(3)



ブエン・レティーロ宮の建設(4)

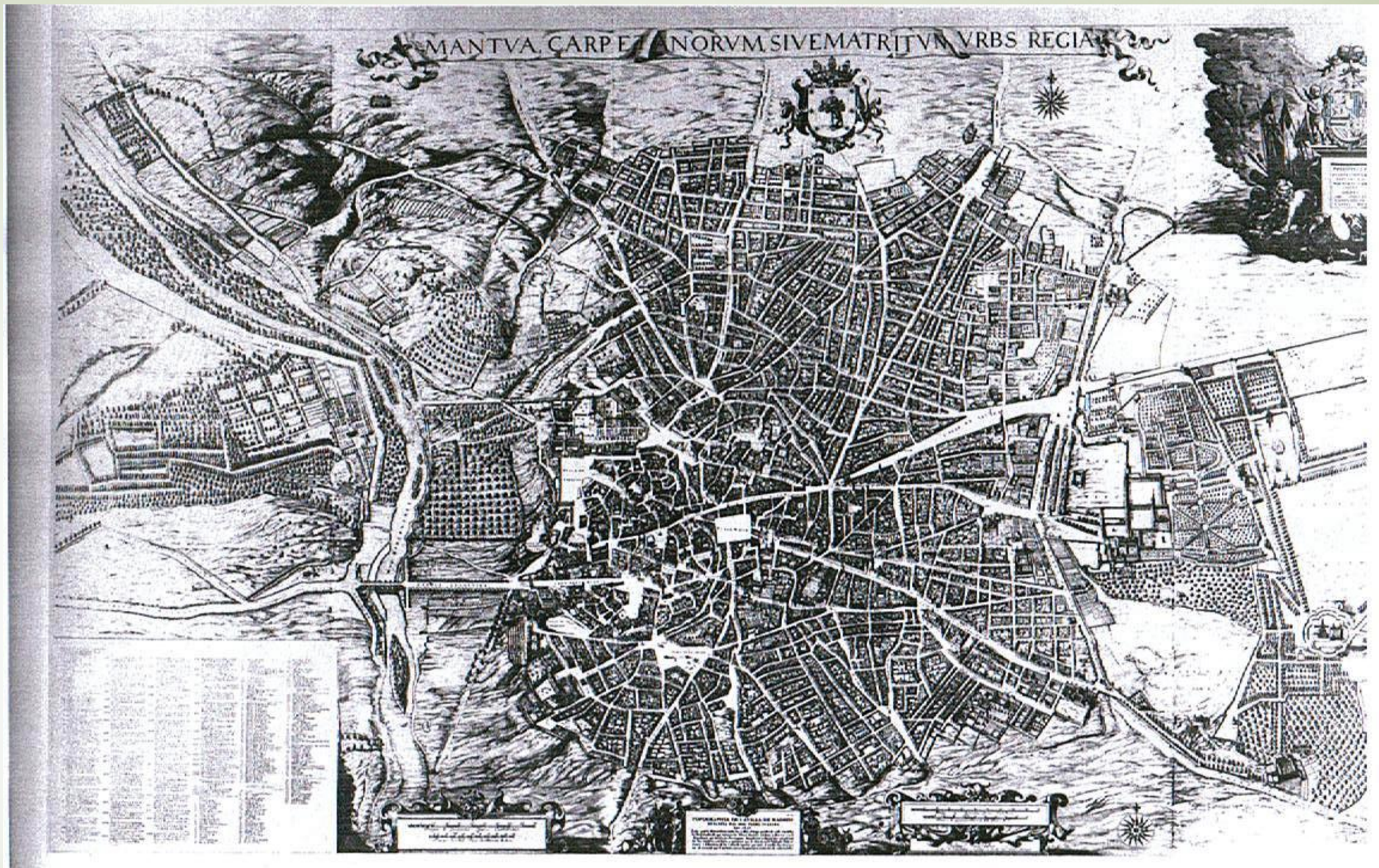


劇場としての帝都マドリード(1)

- 旧王宮(アルカサル)——聖母マリア教会——マドリード市庁舎——グアダラハラ門
- マヨール通り——アルカラ通り——アルカラ門
- マヨール通り——聖ヒエロニムス通り——聖ヒエロニムス修道院／ブエン・レティーロ宮殿
- マヨール広場——アトーチャ通り——アトーチャ修道院



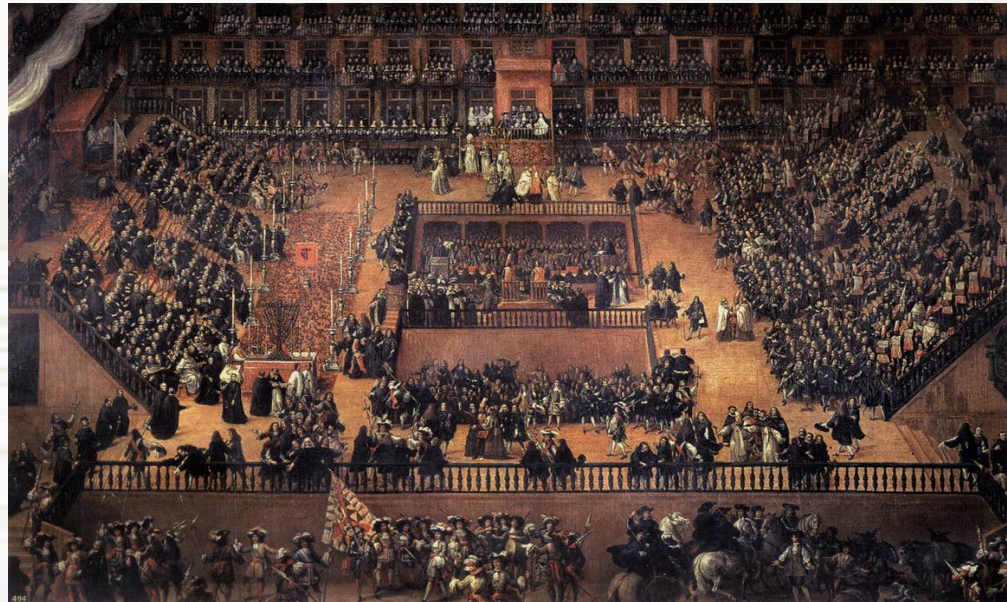
劇場としての帝都マドリッド(2)



劇場としての帝都マドリッド(3)



劇場としての帝都マドリード(4)



王宮(アルカサル)



Fig. 75.—La fachada y la Plaza del Alcázar. F. Pallotta (1704). Museo Municipal. Madrid

Sin embargo, a lo largo del reinado se hicieron en el Alcázar obras que no dejan de tener interés, por un lado por lo que suponen de transformación de los interiores de

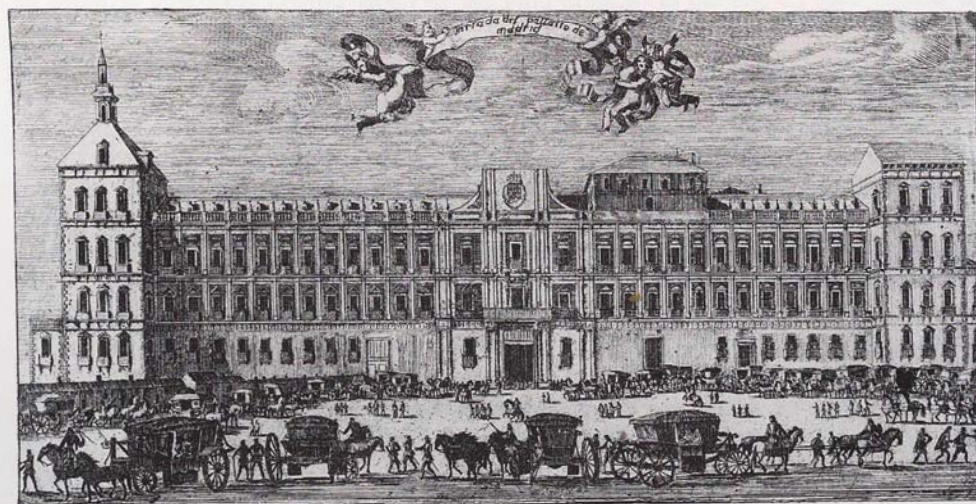
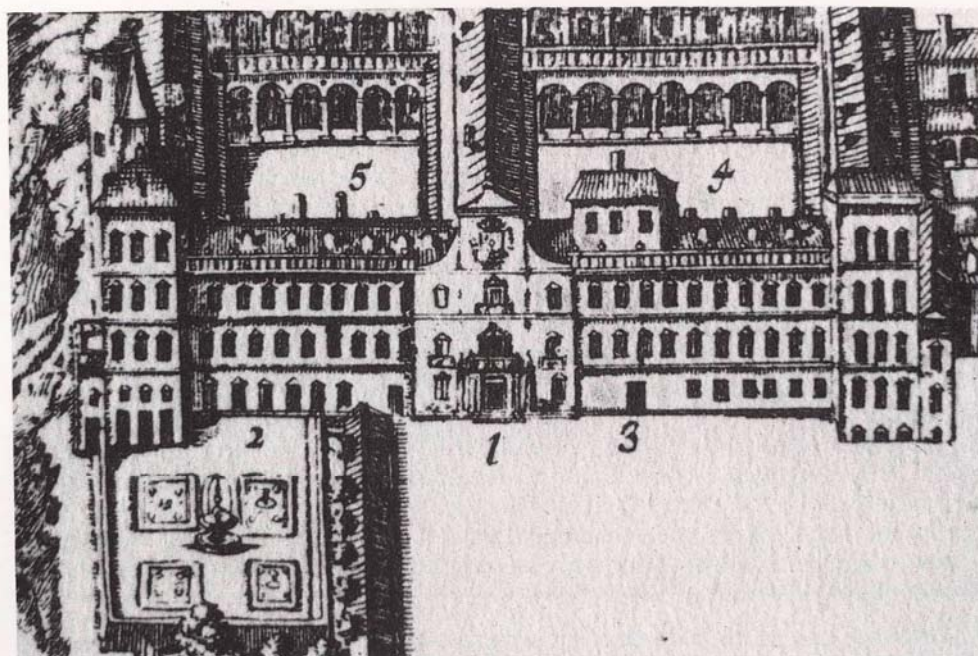


Fig. 67.—La fachada de Palacio tras la demolición de la torre del Sumiller. Plano de Teixeira (1656). Grabado de Meunier (hacia 1666).

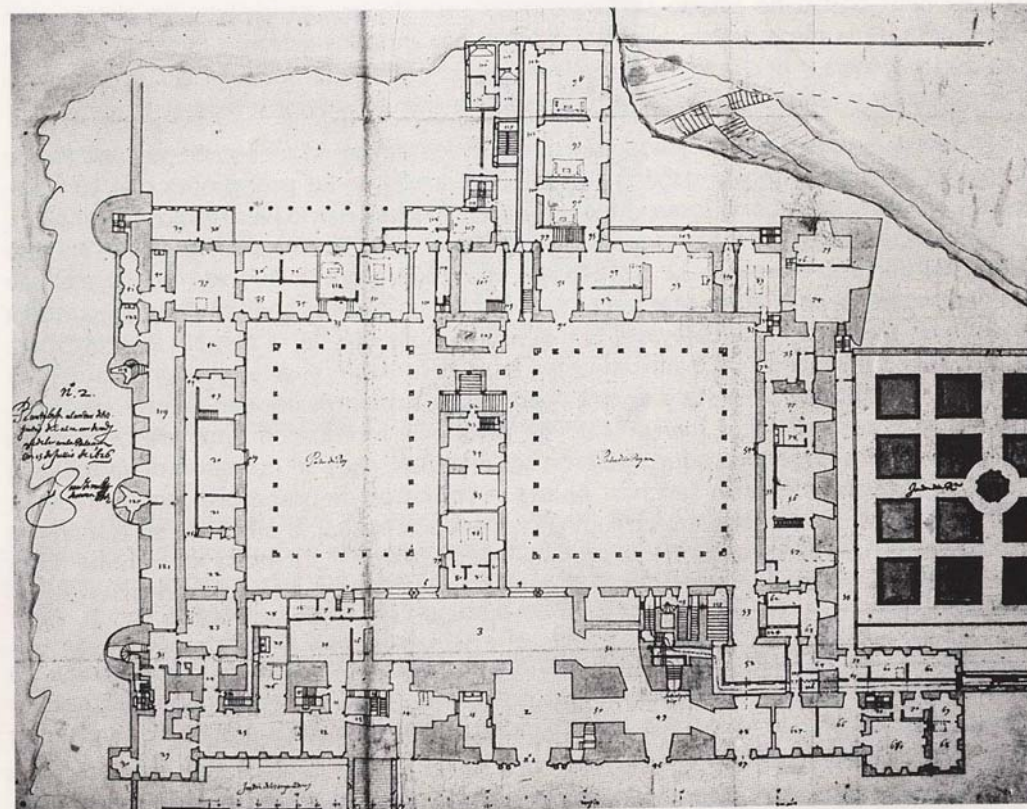


Fig. 54.—Planta baja del Alcázar de Madrid. Juan Gómez de Mora (1626). Biblioteca Apostólica Vaticana.

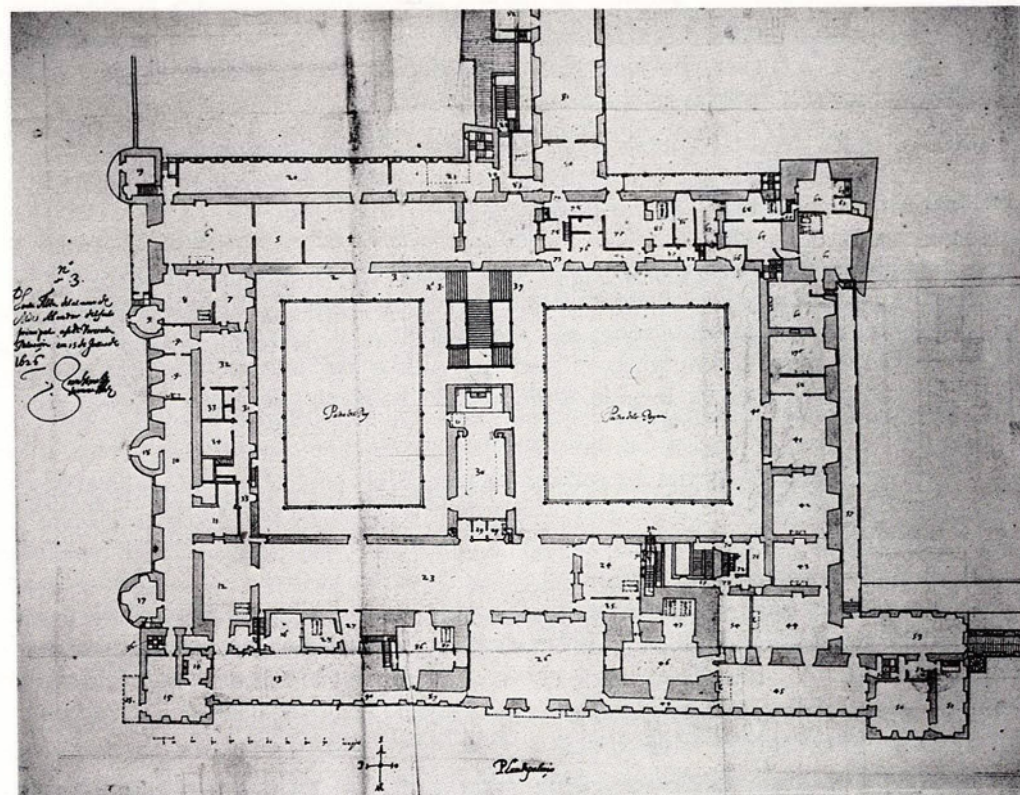


Fig. 46.—Planta principal del Alcázar de Madrid. Juan Gómez de Mora (1626), Biblioteca Apostólica Vaticana.

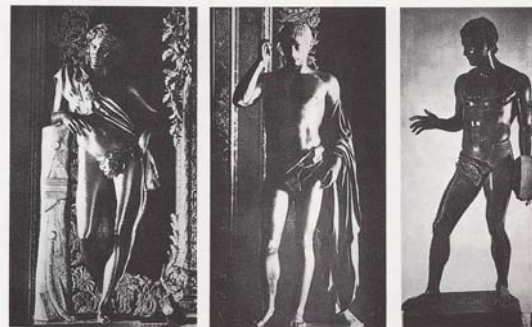


Fig. 62.—Las tres estatuas adquiridas por Velázquez en Italia para la Pieza Ochavada. Palacio Real. Madrid.

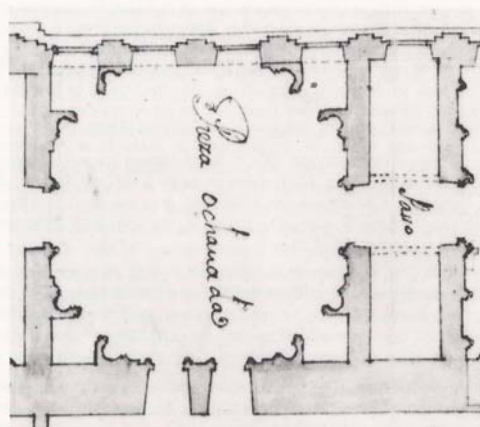
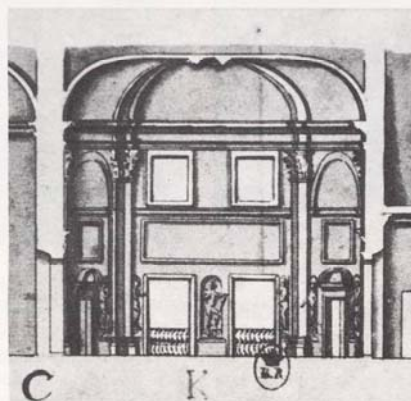


Fig. 63.—La Pieza Ochavada. Planta (AGP, SP, 214) y sección (A. Du Verger, 1711, B.N.P.).

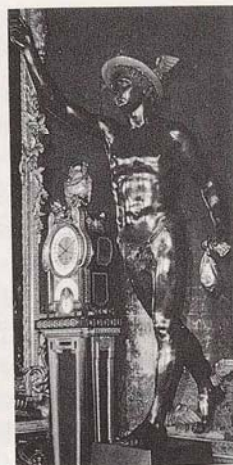
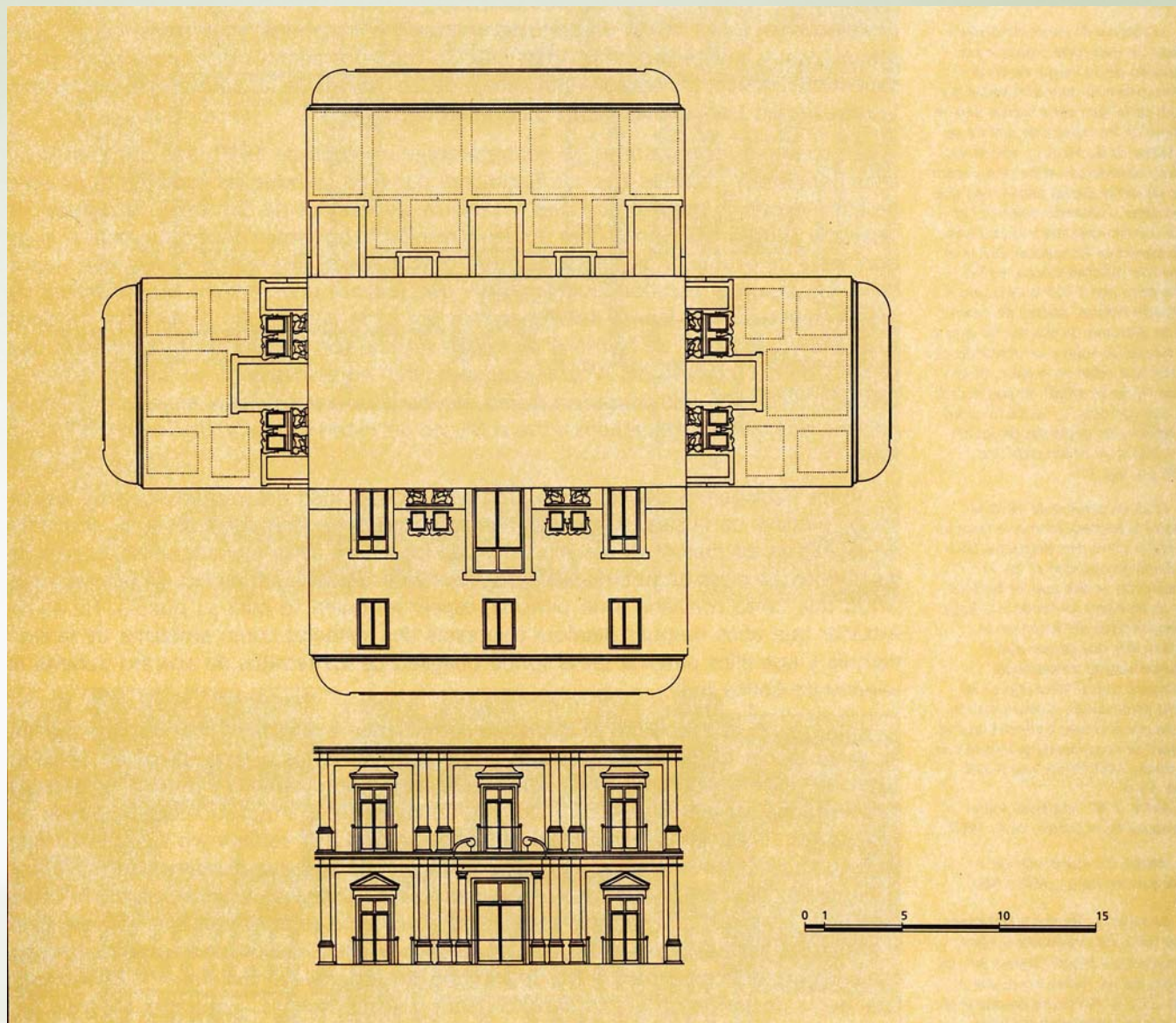
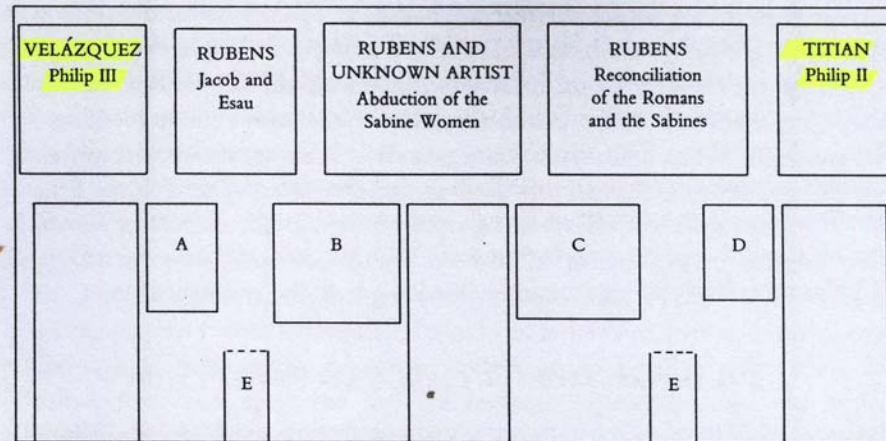


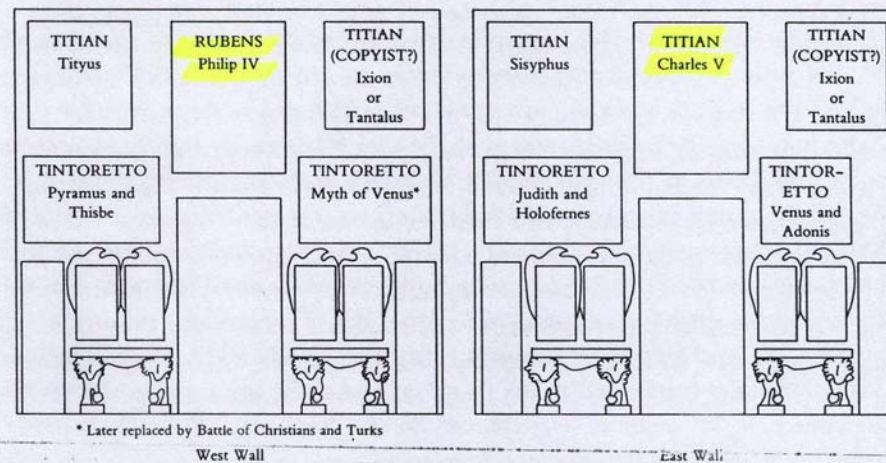
Fig. 61.—La serie de *Los Planetas*, que adornaron los nichos de la Pieza Ochavada. Jacques Jonghelinck. Palacio Real. Madrid.





A—RUBENS and JORDAENS, Perseus and Andromeda
 B—RUBENS, Gaius Mucius Scaevola before Porsenna
 C—RUBENS and VAN DYCK, Ulysses Discovers Achilles
 D—RUBENS and JORDAENS, Hercules and Antaeus
 E—Fireplace (height unknown)

DIAGRAM 1. *Reconstruction of the north wall of the Hall of Mirrors in 1659*



* Later replaced by Battle of Christians and Turks

West Wall

East Wall

DIAGRAM 2. *Reconstruction of the east and west walls of the Hall of Mirrors in 1659*

ティツィアーノ 「ミュールベルクの戦いのカール5世」



ティツィアーノ 「レパントの戦い後のフェリーペ2世寓意的肖像画」



ベラスケス

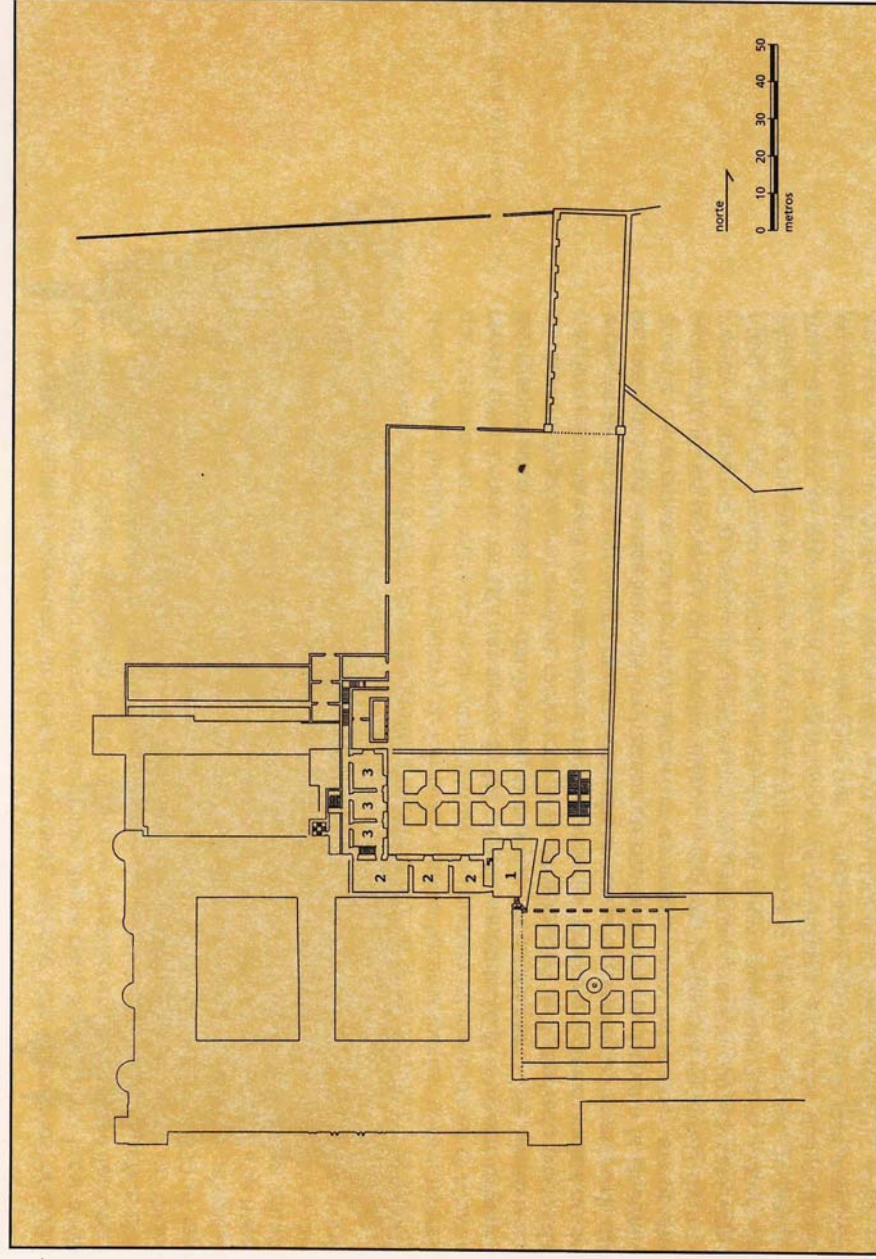
「フェリーペ3世とモリスコ追放」(？)



ルーベンス「フェリーペ4世の騎馬像」(コピー)







y del Retrete de las dos Casas de la Reyna y Reyna de Ungria, con todas sus criadas mayores y menores, en que tienen sus aposentos, oratorio, tribunas a la Capilla sobre las de Su Magestad y otras comodidades, que seran en numero de mujeres de todas calidades 400 personas que se gobiernan debajo de las dos camareras Mayores y Mayordomo Mayor de la Reyna.

Fuera de la cantidad desta planta, tiene esta Alcazar otros muchos edificios que se mandan por

EL APOSENTO BAJO DE VERANO

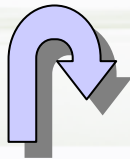
1. Pieza de la torre.
2. Bóvedas bajo la crujaia norte.
3. Bóvedas bajo la galeria del Conde-Duque.

1659年のピレネー条約の結果

- 1659年11月7日、ピレネー条約に調印
→カタルーニャ領土の5分の1にあたるルシヨンとセルダーニュ半分とがフランスのものとなる。
→ルイ14世とフェリーペ4世の娘マリア・テレーサの結婚を取り決める。

⇒スペインの優位が失われ、「フランスの時代」が始まった。

- 1660年6月7日、ファイサネス島でフェリーペ4世がルイ14世に王女マリア・テレーサを渡す儀式（スペイン側は「王室配室長」ベラスケスがこれを手配する）。



「玉子を料理する老女と少年」



- <http://www.artehistoria.jcyl.es/genios/pintores/a3652.htm>

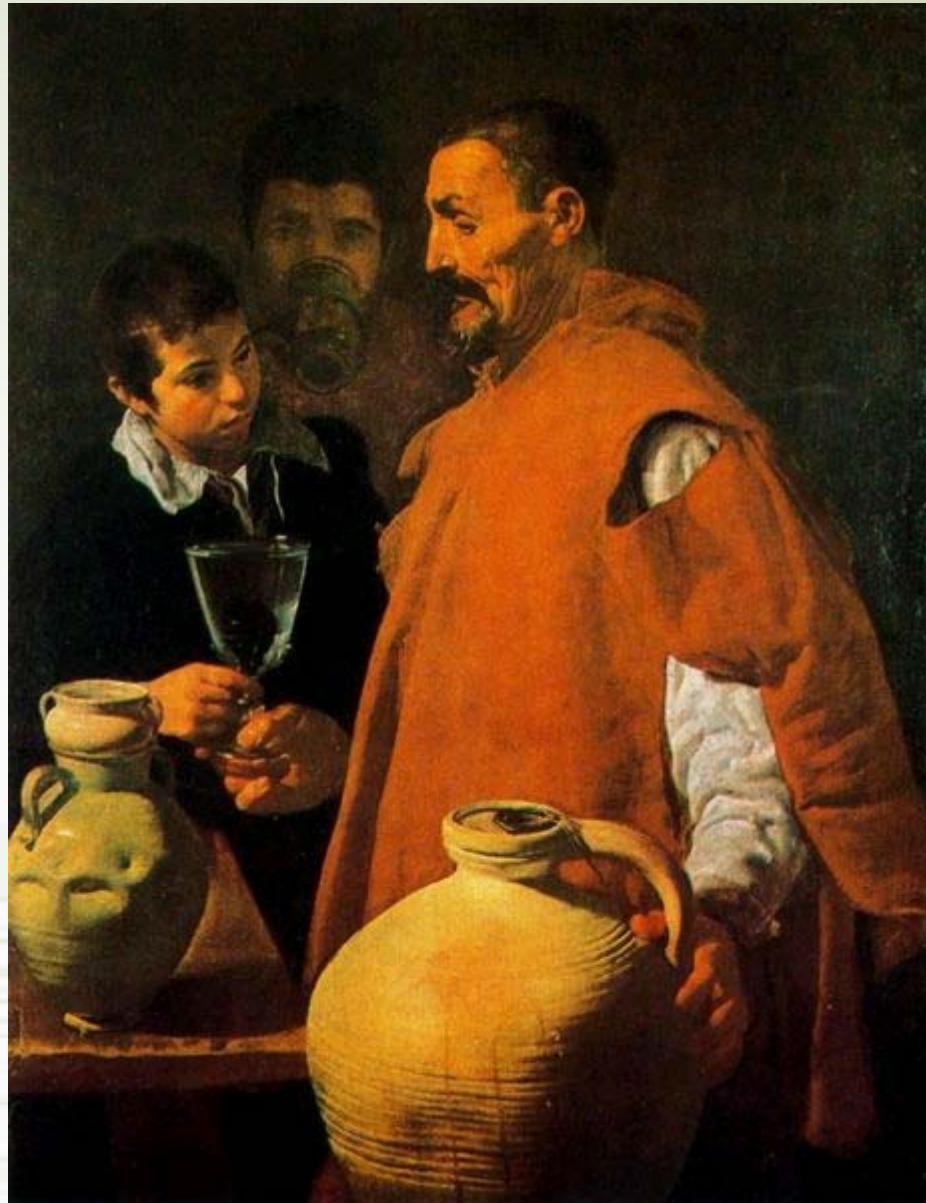
「マルタとマリアの家のキリスト」



「東方の三博士」



「セビーリャの水売り」



「フェリーペ4世」

Felipe IV joven



「バッカスの勝利」



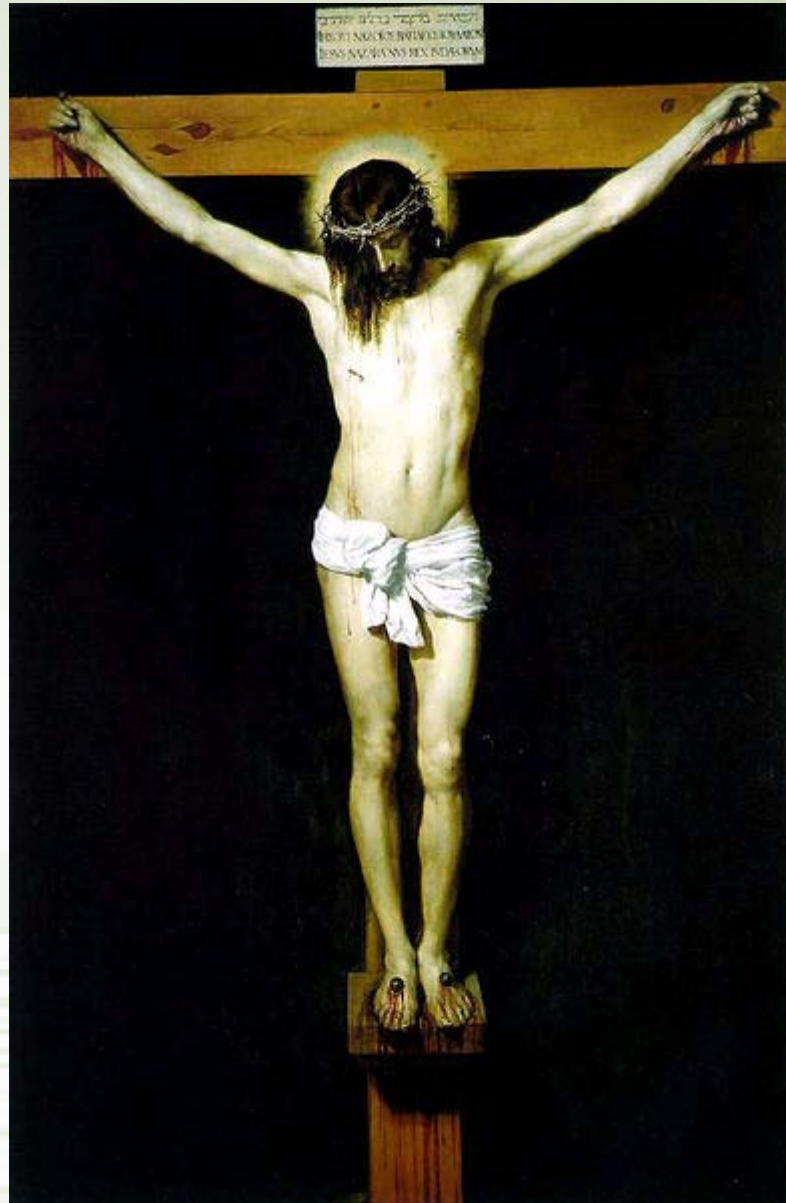
「ヨセフの長衣を受ける聖ヤコブ」



「ウルカヌスの鍛冶場」



「十字架上のキリスト」



「バルタサール・カルロス皇太子騎馬像」



「フェリーペ4世騎馬像」



「ブレードの開城」



「狩猟服姿のバルタサール・カルロス皇太子」



「ファン・デ・パレーハ」



「教皇インノケンティウス10世」



「マリアナ王妃」



「女官たち(ラス・メニーナス)」 (「フェリーペ4世の家族」とも)



※「フェリーペ4世の家族」——宮廷家族の図柄を描く。17世紀的な風俗画。宮廷の私的空間を自然に描いた絵。(1500ドゥカードの値段)

「アラクネの寓話（織女たち）」





El Príncipe Felipe Próspero

Autor: [Velázquez](#)

Fecha: 1659 h.

Museo: [Kunsthistorisches Museum](#)

Características: 128'5 x 99'5 cm.

Material: [Oleo sobre lienzo](#)

(4歳で夭折。病弱だった王子の腰には、悪病除けの香料の玉や魔除けの鈴がつるされている。)

「マルガリータ王女」



王女マルガリータ

la infanta Margarita Teresa

(1651年、フェリーペ4世の二度目の妻マリアナとの間に生まれる。1666年、オーストリア・ハプスブルク家に嫁ぐ。夫はレオポルド1世として神聖ローマ皇帝となる。一子をもうけたが、73年、ウィーンの宮廷でわずか22歳の一生を終える。)

- *La infanta Margarita (La infanta Margarita a los tres años)*, 1653, óleo sobre lienzo, 128,5 x 100 cm, [Kunsthistorisches](#), [Viena](#) (3歳の、ピンクのマルガリータ)
- *La infanta Margarita (La infanta Margarita a los cinco años)*, h. 1656, óleo sobre lienzo, 105 x 88 cm, [Kunsthistorisches](#), [Viena](#) (5歳の、白い服のマルガリータ)
- [La familia de Felipe IV](#) o «Las Meninas», 1656-1657, óleo sobre lienzo, 318 x 276 cm, Museo del Prado, Madrid (ラス・メニーナス。女官たちに囲まれるマルガリータ)
- [La Infanta Margarita en azul](#). O *La infanta Margarita a los ocho años*, o simplemente, *La infanta Margarita*, 1659, óleo sobre lienzo, 127 x 107 cm, [Kunsthistorisches](#), [Viena](#) (8歳の、ブルーのマルガリータ)
- [La infanta doña Margarita de Austria](#), 1660, óleo sobre lienzo, 212 x 147 cm, Museo del Prado, Madrid (9歳の王女マルガリータ。その死後、弟子のマゾによって手直しされ完成された作品)







Retrato de la infanta Margarita

1653 - 1654

Lienzo. 0,70 x 0,59

Museo del Louvre, París. (ベラスケスの工房)









Infanta Margarita
(喪服姿のマルガリータ。※1665年、父フェリーペの逝去)
Autor:[Juan Bautista Martínez](#) Fecha:1666
Museo:[Museo del Prado](#)
Características:209 x 147 cm.
Material:[Oleo sobre lienzo](#)